

令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人

チャイルドファーストジャパン

1 事業の成果

特定非営利活動に係る事業については、原則として、昨年度の実業内容を継続した。従って、主たる事業は、ケースワーク事業、オンブズパーソン活動、研究・研修事業、啓発事業であった。

2015年2月7日に開所した『子どもの権利擁護センターかながわ』で実施する子どもの権利擁護センター事業をケースワーク事業の中心事業の一つに位置づけた。今年度もこれを継続した。

啓発事業のうち、乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育事業は、神奈川県の実業に協力することで、SBS 予防教育実施医療機関のさらなる増加に努めた。

昨年度に引き続き、ChildFirst Japan ファカルティーによる RIFCR™ 研修を継続した。

Gundersen National Child Protection Training Center (GNCPTC)が、2014年にChildFirst™をChildFirst®として正式に商標登録したことに基づき、ChildFirst Japanも2014年度にChildFirst™司法面接プロトコルをChildFirst®司法面接プロトコルに改訂し、今年度も司法面接研修を継続した。

また、2015年2月7日に『子ども権利擁護センターかながわ』を開所したことに基づき、それまでは社会福祉法人子どもの虐待防止センター（東京）に協力する形で実施していた虐待被害児診察技術研修を2015年度から当法人の実業としても開始し、今年度も継続した。

なお、これら、ChildFirst Japan 研修事業は、特定非営利活動に係る実業会計と切り離し、ChildFirst Japan 特別会計で管理する。このChildFirst Japan 特別会計は、特定非営利活動に係る実業と収益事業とに分け、当法人が会場を準備し、受講者を募集して実施するセンター型ChildFirst®司法面接研修とセンター型RIFCR™、ChildFirst®拡大司法面接研修、ChildFirst®ピア・レビューアー養成研修およびセンター型虐待被害児診察技術研修を特定非営利活動に係る実業とし、地方自治体等の団体・組織から招聘され、委託事業として実施する出前型ChildFirst®司法面接研修、出前型ChildFirst®拡大司法面接研修、出前型ChildFirst®ピア・レビューアー養成研修と出前型RIFCR™研修および出前型虐待被害児診察技術研修を収益事業として実施した。

これによって、収益事業を一般会計収益事業とChildFirst Japan 特別会計収益事業の二つに分けることとした。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る実業

①子ども虐待・ネグレクトのケースワーク事業

ア ケースワーク事業

- ・内 容 児童相談所・各市町村等が開催する個別ケース検討会議等に、要請に応じて出席し、事例の重症度判定およびケースワーク方針等について助言・協力した。

- ・日 時 令和4年9月28日(水) 多摩区役所
令和5年2月15日(水) 伊勢原市役所
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・従事者人員 各回4～9人
- ・対 象 者 当該事例に関わっている支援者および当法人の電話相談員

イ 子どもの権利擁護センター事業

- ・内 容 2015年2月7日に、当法人の事務所の1階に開所した『子どもの権利擁護センター(CAC)かながわ』を子どものためのワン・ストップ・センターとして機能させ、虐待・ネグレクトなどの人権侵害を受けたと疑われる子どもたちや犯罪被害に遭った子どもたち、犯罪を目撃した子どもたち等に対して、多機関連携チーム(MDT: Multidisciplinary Team)の枠組みで司法面接と系統的全身診察を実施した。
- ・日 時 令和4年5月18日(水)午後
令和5年1月11日(水)午後
令和5年3月 1日(水)午後
- ・場 所 この法人の事務所の1階に設置された『子どもの権利擁護センターかながわ』
- ・従事者人員 各回4～6人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトの疑われる子ども、原則として1日に1人ずつ

ウ 子どものこころとからだのクリニック事業

- ・内 容 児童精神科診療を開始するに当たって、電子カルテ等の初期投資費用および数ヶ月間の運転資金を、寄附金等によって調達でき次第、『子どものこころとからだのクリニック CAC かながわ』(旧『子どもの権利擁護センターかながわ内診察室』)において、虐待・ネグレクトを受けた子どもたちの治療を開始する計画だが、資金調達がかなわず、令和4年度は開始できなかった。
- ・日 時 毎週月曜日午前・午後、火曜日午後、水曜日午前、木曜日午後(午前の診療時間は午前10時～午後1時、午後の診療時間は午後2時～午後5時)
- ・場 所 この法人の事務所の1階に設置された『子どものこころとからだのクリニック CAC かながわ』
- ・従事者人員 各回4～6人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトを受け、治療が必要な子どもたち

②子ども虐待・ネグレクトを扱う行政機関に対するオンブズパーソン活動

ア 苦情相談

- ・内 容 電話もしくは事務局窓口にて、行政機関利用者からの虐待・ネグレクトの処遇に関する苦情を受理し、相談に応じ、必要があれば行政に提言する事業だが、今年度は該当事例がなかった。

③研究・研修事業

ア 研修会

- ・内 容 虐待・ネグレクトの専門家を対象とした研修会を開催した。
 - ・日 時 第95回 令和4年 5月21日(土) (講師; CFJ 理事 溝口 史剛 医師)
場 所: 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
ZOOMによるオンライン
参加者: 会員4名、非会員20名、学生0名
 - 第96回 令和4年 7月10日(日) (講師; CFJ 理事 田中 哲 医師)
場 所: ラジオ日本クリエイティブ貸会議室
ZOOMによるオンライン
参加者: 会員10名、非会員26名、学生1名
 - 第97回 令和4年10月30日(日) (講師; CFJ 理事長 山田 不二子)
場 所: ZOOMによるオンライン
参加者: 会員9名、非会員38名、学生0名
 - 第98回 令和5年 3月11日(土) (講師; CFJ 理事 青木 豊 医師)
場 所: 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
ZOOMによるオンライン
参加者: 会員16名、非会員95名、学生2名
- 計4回
- ・従事者人員 各回3～5人
 - ・参 加 者 子ども虐待・ネグレクトの専門家
各回24名～113名
(延べ221名; 会員39名、非会員179名、学生3名)

イ 在宅支援技術研修

- ・内 容 「子育て世代包括支援センターと地域子ども家庭総合支援拠点」をテーマとして、市区町村職員(児童福祉担当、母子保健担当、障害福祉担当、生活保護担当、DV 担当、教育委員会等) 民生児童委員、保育士、学校の教職員など、在宅支援にあたる職種間がお互いの役割や活動を相互に理解し、情報共有と連携協働の方法論を学ぶ研修を実施した。
- ・日 時 令和4年 6月11日(土)
令和4年 8月 7日(日)
令和4年10月29日(土)
令和4年12月 3日(土)
令和5年 3月12日(日)
- ・場 所 神奈川歯科大学附属横浜クリニック 横浜研修センター 6階教室
- ・講 師 理事長 山田 不二子
- ・従事者人員 各回2～3人
- ・参 加 者 21名(正会員4名、賛助会員4名、非会員13名)

ウ 電話相談員等ボランティア養成事業

- ・内 容 「虐待相談かながわ」の電話相談員等、子ども虐待・ネグレクトの防止活動ボランティアを養成するための講座を開設した。

- ・日 時 令和4年6月～9月
 基礎講座 2時間30分×4回（6月2日(木)、9日(木)、23日(木)、
 6月30日(木)）
 講師；理事長 山田 不二子
 実践講座 3時間×3回（7月6日(水)、13日(水)、20日(水)）
 指導者；この法人の電話相談員6人
 応用講座 2時間30分×4回（8月4日(木)、18日(木)、25日(木)、
 9月8日(木)）
 講師；理事長 山田 不二子
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・従事者人員 1～10人
- ・対 象 者 一般市民の中で電話相談員等子ども虐待防止ボランティア活動を志望する者
- ・参 加 者 基礎講座4名、実践講座2名、応用講座2名

エ 「CACかながわ」ケース・カンファレンス

- ・内 容 「子どもの権利擁護センター(CAC)かながわ」で実施した司法面接の録画ビデオを使ってピア・レビューを実施し、司法面接者の技術向上を目指すために適宜実施することとしているが、当法人の司法面接者の技術が十分に向上しているため、令和4年度は実施する必要がなかった。

オ ChildFirst Japan センター型 RIFCR™ 研修

- ・内 容 通告義務者向けの聞き取り研修を実施した。
- ・日 時 横浜会場（ラジオ日本クリエイイト貸し会議室）
 令和4年 5月28日(土) 参加者：39名
 令和4年 7月 9日(土) 参加者：38名
 令和4年 9月10日(土) 参加者：38名
 令和4年11月13日(日) 参加者：39名
 令和5年 1月14日(土) 参加者：40名
 令和5年 3月26日(日) 参加者：35名
 名古屋会場（ウインクあいち）
 令和4年 9月24日(土) 参加者：35名
 令和4年12月 3日(土) 参加者：37名
 三重会場（じばさん三重）
 令和4年 7月31日(日) 参加者：39名
 大阪会場(エル・おおさか)
 令和5年 3月11日(土) 参加者：36名
 令和5年 3月12日(日) 参加者：37名
- ・場 所 日本クリエイイト貸し会議室、ウインクあいち、じばさん三重、
 エル・おおさか
- ・講 師 ChildFirst Japan RIFCR ファカルティー 各回2～4人
- ・対 象 者 小・中・高校の養護教諭や幼稚園教諭・保育士など、子どもの性虐待を発見

- しやすい職種に従事する者、各回定員40人
- ・参加者 各回35～40名（延べ413名）
- カ ChildFirst Japan センター型 ChildFirst® 司法面接研修
- ・内容 多機関連携チーム(MDT)の枠組みで実施する司法面接（調査・捜査のための聞き取り）の研修を実施した。
研修プロトコルは、GNCPTC（Gundersen National Child Protection Training Center）が開発し、現在は Zero Abuse Project が運営する ChildFirst® 司法面接プロトコル。
 - ・日時 第1回；令和4年 9月15日(木)～19日(月) 参加者：20名
第2回；令和4年10月 6日(木)～10日(月) 参加者：20名
第3回；令和5年 2月22日(水)～26日(日) 参加者：20名
第4回；令和5年 3月17日(金)～21日(火) 参加者：20名
 - ・場所 プロミティあつぎ、神奈川工科大学 IT エクステンションセンター、
子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室および1階 司法面接室・
観察室
 - ・講師 ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティ（子どもの司法面接 NCPTC 認定トレーナー）8人
 - ・対象者 全国の児童相談所職員、警察官、検察官、家庭裁判所調査官、弁護士、医師・
看護師等医療職などの多職種専門家、各回定員20人
 - ・参加者 各回20名（延べ80名）

キ ChildFirst Japan センター型 ChildFirst® 拡大司法面接研修

- ・内容 『拡大司法面接』とは、1回の司法面接を複数のセッションに分けて実施することを指す。1セッションで実施する伝統的司法面接では、マルトリートメント被害の詳細を聞ききれなかったような場合、あるいは、被害がたくさんあって、1回のセッションでは聞ききれないため、複数のセッションに分ける必要が生じる場合などに実施される。拡大司法面接を実施する際に配慮しなければならない正しい知識と適切な実施方法について、3日間(1日あたり原則、午前9時～午後6時)かけて研修を実施した。
- ・日時 令和4年11月25日(金)～27日(日) 参加者：20名
令和5年 2月17日(金)～19日(日) 参加者：15名
- ・場所 プロミティあつぎ
- ・講師 理事長 山田 不二子
- ・対象者 ChildFirst® 司法面接研修、ChildFirst™ 司法面接研修、RATAC® 司法面接研修
の修了者 各回定員27名
- ・参加者 各回15～20名（延べ35名）

ク ChildFirst Japan センター型 ChildFirst® ピア・レビューアー養成研修

- ・内容 司法面接に関するピア・レビューアーの育成をする2日間研修を実施した。
- ・日時 令和4年11月19日(土)～20日(日) 参加者：8名

- 令和5年 2月 4日(土)～ 5日(日) 参加者：8名
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ2階研修室
- ・講 師 理事長 山田 不二子 他 CF-J司法面接ファカルティ
- ・対 象 者 ChildFirst® 司法面接研修、ChildFirst™ 司法面接研修、RATAC® 司法面接研修の修了者 各回定員8名
- ・参 加 者 各回8名(延べ16名)

ケ センター型虐待被害児診察技術研修

- ・内 容 多機関連携チーム(MDT)を構成する医療者、児童相談所職員、警察官、検察官や将来、子どもの権利擁護センター(CAC)の職員として活動する可能性のある職専門職を対象として、MDTのあり方を研修するとともに、虐待被害児の病態理解と診察技術の習得を目指す研修を実施した。
なお、講義の都合上、今年度より2日型研修のみとする。
- ・日 時 令和4年 6月 4日(土)～ 5日(日) 参加者：8名
令和4年 8月 27日(土)～ 28日(日) 参加者：12名
令和4年 10月 15日(土)～ 16日(日) 参加者：13名
令和5年 1月 21日(土)～ 22日(日) 参加者：13名
令和5年 3月 4日(土)～ 5日(日) 参加者：14名
計5回
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室および1階 診察室
- ・講 師 理事長 山田 不二子
- ・対 象 者 前半講義のみ参加；子ども虐待に関わる全ての専門職種、各回定員12人
前半講義及び後半講義と実技参加；医師、助産師、看護師等医療者およびMDTコア・メンバーとなる職種(児童福祉司、警察官、検察官、CAC職員)、各回定員12人
- ・参 加 者 各回8～14名(延べ60名)

④啓発事業

ア 学術集会

- ・内 容 第24回子ども虐待防止シンポジウム
テーマを『ペアレンティング・プログラム』とし、日本に導入されているペアレンティング・プログラムの主たるものを一挙に紹介した。
当法人正会員の中から実行委員を選出して企画運営を行う。
経理は「令和4年度子ども虐待防止シンポジウム事業特別会計」で管理した。
- ・日 時 令和4年 11月 12日(土)午後1時～3時30分
- ・場 所 オンライン開催
終了後オンデマンド配信(令和4年 11月 20日～令和5年 1月 31日)
- ・講 師 堀 健一氏：一般社団法人日本ボーイズタウンプログラム振興機構
代表理事
清水 正江氏：NPO法人コミュニティ・カウンセリング・センター 理事
柳川 敏彦氏：NPO法人トリプルPジャパン 理事、小児科医

森 郁子氏 : NPO 法人きづく 代表理事

小橋 孝介氏 : 鴨川市立国保病院 病院長、小児科医

山田 不二子 : 当法人理事長

- ・従事者人員 3名
- ・対象者 児童福祉・母子保健・医療・教育・等の関係者
- ・参加者 206名

イ パネル・ディスカッション

- ・内容 学術集会で紹介した各ペアレンティング・プログラムについて、その特徴とそれぞれのプログラムにおける適切な対象と実施方法について、その違いを参加者が明確に把握できるようにディスカッションした。
- ・日時 令和4年11月12日(土)午後3時50分～5時
- ・場所 オンライン開催
終了後オンデマンド配信(令和4年11月20日～令和5年1月31日)
- ・パネリスト 堀 健一氏 : 一般社団法人日本ボーイズタウンプログラム振興機構
代表理事
清水 正江氏 : NPO 法人コミュニティ・カウンセリング・センター 理事
柳川 敏彦氏 : NPO 法人トリプルPジャパン 理事、小児科医
森 郁子氏 : NPO 法人きづく 代表理事
小橋 孝介氏 : 鴨川市立国保病院 病院長、小児科医
- ・座長 山田 不二子 : 当法人理事長
- ・従事者人員 3名
- ・対象者 児童福祉・母子保健・医療・教育・等の関係者
- ・参加者 206名

ウ 乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育事業

- ・内容 神奈川県と伊勢原市が米国のプログラムを元に共同開発した乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育プログラムや各医療機関が独自に開発した SBS 予防教育プログラム等を神奈川県内の医療機関に広める神奈川県の事業に協力することで、SBS 予防教育実施医療機関のさらなる増加を図った。
- ・日時 令和4年11月14日(月)
- ・場所 鎌倉保健福祉事務所
- ・従業者人員 1～2人
- ・対象者 指導者研修 : 各病院産科病棟・新生児室の看護師・助産師

エ ニューズレターの発行

- ・内容 令和4年度はニューズレターを発行しなかった。

オ インターネット・ホームページの開設

- ・内容 インターネット・ホームページを2002年4月に開設し、今年度も継続した。

- ・日 時 通年
- ・場 所 この法人の事務所
- ・従事者人員 1人

カ 一般社団法人日本子ども虐待防止学会第28回学術集会ふくおか大会 パネル展示

- ・内 容 一般社団法人日本子ども虐待防止学会(JaSPCAN)第28回学術集会ふくおか大会に参加し、啓発活動の一環として当法人活動を紹介するパネルを展示した。
- ・日 時 令和4年12月10日(土)～11日(日)
- ・場 所 福岡国際会議場
- ・従業者人員 3～5人
- ・対 象 者 JaSPCAN 第28回学術集会ふくおか大会の参加者

(2) 収益事業

①電話相談事業

ア 虐待相談かながわ

- ・内 容 電話相談員養成講座を受講した電話相談員が虐待・ネグレクトをする保護者等からの電話相談を通して、事例のモニタリングとカウンセリングを行い、虐待・ネグレクトの専門家からの相談にも対応して、助言・協力を行った。
- ・日 時 通年、週2回(原則として月・水曜日) 午前10時～午後4時
- ・場 所 この法人の事務所内 電話相談室
- ・従事者人員 各回2人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトをする保護者、虐待・ネグレクトに関わる専門家等 各回0～4人、相談受理件数139件(新規37件)

②研究・研修事業

ア 「虐待相談かながわ」ケース・カンファレンス

- ・内 容 この法人の電話相談員の資質と専門性の向上のための事例検討会の開設をした。
- ・日 時 月2回、原則として第一月曜日 午後3時～6時、第三水曜日 午後6時～8時、ただし、司法面接・系統的全身診察が行われない場合は4時～6時
4月20日(水)、6月22日(水)、7月20日(水)、8月17日(水)、
9月5日(月)、9月21日(水)、10月3日(月)、10月19日(水)、
11月16日(水)、12月5日(月)、令和5年1月16日(月)、
1月25日(水)、2月6日(月)、2月15日(水)、3月15日(水)
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・講 師 理事長 山田 不二子(スーパーバイザー)
- ・従業者人員 2～3人
- ・対 象 者 この法人の電話相談員6～11人

イ ChildFirst Japan 出前型 RIFCR™ 研修

- ・内 容 通告義務者向けの聞き取り研修を招聘元に出向して実施した。
- ・日時及び場所
 - 令和4年4月24日(日)：宮城県仙台市
 招聘元：日本司法支援センター（法テラス）本部
 場 所：スタンダード会議室仙台一番町ホール店
 参加者：40名
 - 令和4年6月14日(火)：宮城県仙台市
 招聘元：日本司法支援センター（法テラス）本部
 場 所：スタンダード会議室仙台一番町ホール店
 参加者：35名
 - 令和4年6月25日(土)・26日(日)：北海道函館市
 招聘元：函館中央病院
 場 所：函館中央病院
 参加者：6月25日(土) 39名
 6月26日(日) 34名
 - 令和4年7月27日(金)・28日(土)・29日(日)：福岡県福岡市
 招聘元：福岡市
 場 所：福岡市市民福祉プラザ（ふくふくプラザ）
 参加者：7月27日(金) 37名
 7月28日(土) 36名
 7月29日(日) 35名
 - 令和4年8月3日(金)：東京都港区
 招聘元：東京都港区
 場 所：港区子ども家庭総合支援センター
 参加者：31名
 - 令和4年8月5日(金)：京都府京都市
 招聘元：京都府家庭支援総合センター
 場 所：京都府家庭支援総合センター
 参加者：40名
 - 令和4年8月10日(金)：神奈川県伊勢原市
 招聘元：神奈川県伊勢原市
 場 所：伊勢原市役所
 参加者：35名
 - 令和4年8月19日(金)：千葉県千葉市
 招聘元：千葉市教育委員会
 場 所：千葉市教育センター
 参加者：40名
 - 令和4年10月1日(土)：東京都港区
 招聘元：東京都港区
 場 所：港区子ども家庭総合支援センター
 参加者：38名
 - 令和4年11月5日(土)・6日(日)：愛知県名古屋市

招聘元：日本福祉大学社会福祉総合研修センター

場 所：11月5日(土)：ウインクあいち

11月6日(日)：イオンコンパス

参加者：11月5日(土) 33名

11月6日(日) 30名

令和4年12月16日(金)：大阪府大阪市

招聘元：日本司法支援センター（法テラス）本部

場 所：エル・おおさか

参加者：18名

令和5年1月21日(土)・22日(日)：群馬県前橋市

招聘元：前橋赤十字病院

場 所：前橋赤十字病院 講堂

参加者：1月21日(土) 40名

1月22日(日) 40名

令和5年1月27日(金)：広島県広島市

招聘元：日本司法支援センター（法テラス）本部

場 所：ワークピア広島

参加者：23名

令和5年2月3日(金)：沖縄県糸満市

招聘元：家庭相談員連絡協議会事務局

場 所：シャボン玉せっけんくくる糸満 1階多目的室

参加者：39名

令和5年2月12日(日)：東京都江東区

招聘元：女性の安全と健康のための支援教育センター

場 所：東京有明医療大学 大講義室

参加者：28名

- ・ 講 師 ChildFirst Japan RIFCR ファカルティー 各回3～4人
- ・ 対 象 者 小・中・高校の養護教諭や幼稚園教諭・保育士など、子どもの性虐待を発見しやすい職種に従事する者、各回定員40人
- ・ 従業者人員 6～7人（このうち、3～4人はRIFCR ファカルティー）
- ・ 参 加 者 各回18～40名（延べ691名）

ウ ChildFirst Japan 出前型 ChildFirst® 司法面接研修

- ・ 内 容 自治体等の団体・組織からの招聘に基づき、GNCPTC (Gundersen National Child Protection Training Center)が開発し、現在はZero Abuse Projectが運営するChildFirst® 司法面接プロトコルを多機関連携チーム(MDT: Multidisciplinary Team)で構成された受講者に研修し、MDTの枠組みで司法面接を実施する体制を各地に構築した。
- ・ 日 時 令和4年 7月14日(木)～18日(月)：東京都港区・神奈川県横浜市
招聘元：港区・横浜市合同開催
場 所：港区子ども家庭総合支援センター

参加者：28名

令和4年12月21日(水)～25日(日)：京都府警察本部

招聘元：京都府警察本部

場 所：京都府警察本部少年サポートセンター、
京都府家庭総合支援センター

参加者：19名

- ・講 師 ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティ（子どもの司法面接 NCPTC 認定トレーナー）7人
- ・対 象 者 各県・政令市で活動する児童相談所職員、警察官、検察官、家庭裁判所調査官、弁護士、医師・看護師等医療職などの多職種専門家
- ・従業者人員 8～10人（このうち、7人はChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティ）
- ・参 加 者 各回19～28名（延べ47名）

エ ChildFirst Japan 出前型 ChildFirst® 拡大司法面接研修

- ・内 容 拡大司法面接を実施する際に配慮しなければならない正しい知識と適切な実施方法について、自治体等の団体・組織からの招聘に基づいて、3日間（1日あたり原則、午前9時～午後6時）かけて研修した。
- ・日 時 令和4年8月31日(水)～9月2日(金)
- ・場 所 大阪高等検察庁
- ・講 師 理事長 山田 不二子
- ・対 象 者 ChildFirst® 司法面接研修、ChildFirst™ 司法面接研修、RATAC® 司法面接研修の修了者
- ・従業者人員 3～5人（このうち、1人は理事長 山田 不二子）
- ・参 加 者 24各

オ ChildFirst Japan 出前型 ChildFirst® ピア・レビューアー養成研修

- ・内 容 自治体等の団体・組織からの招聘に基づき、司法面接ピア・レビューアーを養成する研修を2日間かけて実施する事業だが、令和4年度は実施しなかった。

カ 出前型虐待被害児診察技術研修

- ・内 容 自治体等の団体・組織からの招聘に基づき、多機関連携チーム(MDT)を構成する医療者、児童相談所職員、警察官、検察官、子どもの権利擁護センター(CAC)職員等を対象として、MDT のあり方を研修するとともに、虐待被害児の病態理解と診察技術の習得を目指して実施した。
- ・日 時 令和4年5月14日(土)：愛知県名古屋市
招聘元：日本福祉大学
場 所：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二赤十字病院
参加者：26名
令和4年8月13日(土)：神奈川県横浜市
招聘元：横浜市児童相談所

場 所：横浜市こども青少年局中央児童相談所

参加者：34名

令和4年8月21日(日)：兵庫県尼崎市

招聘元：兵庫県立尼崎総合医療センター

場 所：兵庫県立尼崎総合医療センター

参加者：49名

令和4年12月18日(日)：神奈川県川崎市

招聘元：川崎市児童虐待医療ネットワーク事業コーディネーター
事務局

場 所：川崎市役所第3庁舎 会議室

参加者：22名

令和5年1月15日(日)：東京都港区

招聘元：東京都港区

場 所：港区子ども家庭総合支援センター

参加者：9名

令和5年1月28日(土)：香川県

招聘元：香川県

場 所：四国こどもとおとなの医療センター

参加者：21名

- ・ 講 師 理事長 山田 不二子、栗原 八千代氏(医師)
- ・ 従業者人員 1～3人
- ・ 対 象 者 招聘元が招集した参加者
- ・ 参 加 者 各回9～49名(延べ161名)

キ『子どもの権利擁護センターかながわ』見学および研修

- ・ 内 容 『子どもの権利擁護センターかながわ』施設見学および研修を実施した。
- ・ 日 時 令和4年5月27日(金)
豊島区子ども家庭部子育て支援課 児童相談所設置準備担当
令和4年7月11日(月)
立命館大学大学院人間科学研究所
- ・ 場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室および1階
- ・ 従事者人員 各回1～3人
- ・ 参 加 者 児童福祉・母子保健・医療・教育・司法・警察 他

③ 専門家派遣事業

ア 講演会・講義等に対する講師派遣

- ・ 内 容 この法人に対して、他団体から講演会・講義等の講師の招聘があったときに、
当法人の役員や正会員を派遣した。
東京医科歯科大学：公衆衛生学 学生実習
令和4年5月25日
山梨県中央児童相談所：児童相談所初任者等研修

令和4年6月3日
 横浜市中央児童相談所：被害確認研修「面接者フォローアップ研修」

令和4年7月25日
 高槻病院 子どもと家族の支援センター：高槻病院 SBS 予防教育プログラム
 インストラクター研修

令和4年8月6日
 東京都立高等学校学校保健研究会：学校保健（養護教諭）研修会

令和4年8月23日
 神奈川県立藤沢総合高等学校：人権研修会

令和4年9月6日
 兵庫県中央こども家庭センター：兵庫県児童福祉司任用後研修

令和4年9月29日、30日
 神奈川県次世代育成課：SBS 出張講座

令和4年11月14日
 日本司法支援センター本部：事務フロー査読業務

令和4年12月
 社会福祉法人 雲柱社：こども関係機関 虐待予防研修

令和5年1月18日、令和5年2月14日
 横浜市中央児童相談所：被害確認研修「面接者フォローアップ研修」

令和5年1月23日
 新宿区立子ども総合センター：児童相談行政の在り方に関する研修会

令和5年3月10日

イ 司法面接者・診察医派遣

- ・内 容 この法人に対して、児童相談所・警察・検察等から司法面接者・虐待被害児診察医の派遣要請があったときに、当法人の ChildFirst Japan ファカルティを派遣した。
- ・日 時 令和4年6月8日(水)
- ・場 所 港区児童相談所
- ・派 遣 者 この法人の ChildFirst Japan ファカルティ
- ・従業者人員 1～3人
- ・対 象 者 招聘元が関わっている虐待被害児や犯罪を目撃した児童

④アナトミカル・ドール販売事業

- ・内 容 国際的に定評のある Teach-a-Bodies 社製アナトミカル・ドールの仲介販売を行った。
- ・日 時 令和5年3月
- ・場 所 当法人の事務所
- ・従業者人員 2～4人
- ・対 象 者 鳥取地方検察庁

(3) その他の事業

①チャリティー事業

ア チャリティー・パーティー

- ・内 容 この法人の正会員・賛助会員の親睦および特定非営利活動に係る事業の不足分資金の調達のために会費制の会食会を行う事業だが、令和4年度はチャリティー・パーティーを行わなかった。